

## 特別支援教育とは何ですか？

子どもが特別支援教育を受ける場合、公立学校はその生徒のニーズに特化したカスタムメイドのサービスと指導を提供することになります。特別支援教育が受けられるのは、障害者教育法（IDEA）と呼ばれる連邦法のおかげです。IDEAは、障害のある生徒とその保護者に、こうした個別の学習機会を受ける特別な法的権利を与えています。

特別支援教育はサービスで、場所ではありません。



### 特別支援教育はどのようにお子さんの役に立つのでしょうか？

- ▶ お子さんが特別支援教育の対象となる場合、お子さん独自のニーズに合わせて特別に設計されたサービスやサポートを受けることができます。
- ▶ 特別支援教育サービスは、無料で個別のプログラムを提供します。これには特別支援教育の教師や、作業療法士、理学療法士、言語聴覚士、失読症の指導者などのサービス提供者が含まれる場合があります。

## 特別支援教育のプロセス：

保護者はいつでも特別支援教育評価を要求する権利があります。学校は、ある生徒に特別支援教育サービスが必要とする可能性のある障害が疑われる場合、生徒を評価のために紹介することが義務付けられています。特別支援教育プロセスのステップを理解することは重要です。

### 特別支援教育を始めるためのステップ：



特別支援教育サービスを受ける：



IEPの実施

親としての権利の詳細については、以下を参照してください：



[spedtex.org](https://spedtex.org)

1-855-773-3839

**SPEDTEX**  
Special Education Information Center

親のための特別支援  
教育の手引き



親のためのARDプロセスガイド  
[bit.ly/ParentsARD](https://bit.ly/ParentsARD)



手続上の保障措置の通知  
[bit.ly/ParentsNPS](https://bit.ly/ParentsNPS)

1973年のリハビリテーション法第504条のように、障害のある生徒に一定の保護を提供する他の連邦法もありますが、IDEAにはその法律の下でのみ利用可能な特定の権利があります。本文書は、それらの権利を要約します。

1

## 特別支援教育が行われるための紹介



### 紹介は：

- ▶ 公立学校が、お子さんに障害があり、成功するためには特別支援教育サービスが必要な可能性があると判断した場合に、法律で義務付けられます。
- ▶ 親が行う場合は、特別支援教育評価の**依頼**と呼ばれます。依頼は、適切な職員に対して書面で行われる必要があります。学校は評価を進めるかどうかについての情報を提供して応答します。

学校は**15日以内**に書面で応答しなければなりません。



2

## あなたは学校がお子さんを評価することに同意するかどうかを尋ねられます。



### 評価への同意とは：

- ▶ あなたが選択する、特別に訓練された職員が特定の分野でお子さんを評価し、査定するための許可。
- ▶ 学校がお子さんの評価を完了しなければならない期限となる **タイムライン**を使用します。

一部の例外を除き、評価は授業日 **45 日以内**に完了する必要があります。



3

## 評価は訓練を受けた専門家のグループによって行われます。



### 評価とは：

- ▶ **Full Individual and Initial Evaluation** (完全な個別評価と初回評価) (**FIIE**) と呼ばれ、お子さんの強み、興味、課題に関する情報を記載した、書面による教育に関する推奨事項と情報を含みます。例えば、失読症が疑われる場合には、免許を持った読字障害セラピストのような人員など、障害が疑われる分野で訓練を受けた専門家が参加する必要があります。
- ▶ 無償で行われます。あなたが学校の評価に同意しない場合は、**Independent Educational Evaluation** (独立教育評価) (**IEE**) を求めることができます。これは、学校に雇用されていない人によって行われます。



4

## 入学、審査、退学 (ARD) 委員会は、お子さんが特別支援教育サービスを受ける資格があるかどうかを判断するために開催されます。

### ARD委員会とは：

- ▶ あなた、教師、学校管理者、お子さんに関する特別な専門知識を持つ人、および疑われている障害について特別な訓練を受けた専門家を含むチームです。
- ▶ この会議では、お子さんの評価レポートについて話し合い、お子さんの強みと必要な分野を特定し、それから、お子さんに障害があるかどうか、特別支援教育サービスが必要かどうかを判断します。



評価報告書が作成されると、ARD委員会は通常、**30暦日以内**に適格性を判断し、IEPを作成します。学校は、評価報告書をできる限り早く、ARD委員会会議の**5登校日** (授業日) 前までに提供します。



5

あなたのお子さんが特別支援教育サービスを受ける資格がある場合、**ARD委員会**は個別教育プログラム（**IEP**）も作成します。



### IEPとは：

- ▶ お子さんの障害を特定し、お子さんの現在の強みと必要な分野を示し、取り組むべき目標を特定し、お子さんが成功するために必要な特別支援教育と関連サービスを示す情報を集めたものです。
- ▶ 作成プロセスが完了し、お子さんがサービスを受けることにあなたが同意した後に、学校が従わなければならない書類です。できるだけ早くサービスを開始します。

あなたには、**IEP**の作成に参加し、お子さんが特別支援教育サービスを受けることに同意するか否かを決める権利があります。



## 前進：特別支援教育サービスを受ける

**IEP**が作成されたら、**IEP**を実施するのは学校の責任です。学校は**IEP**に記載されたサービス、配慮、支援を提供しなければならず、学校職員は**IEP**の目標に向けたお子さんの進捗状況を監視します。

- ▶ あなたは各評価期間に少なくとも1回、お子さんの**IEP**目標に関する進捗レポートを受け取ります。
- ▶ **ARD委員会**は、少なくとも年1回会合し、お子さんの**IEP**を審査します。
- ▶ **ARD委員会**のメンバーとして、あなたは少なくとも3年ごとに更新された評価の必要性について議論することになります。
- ▶ **ARD委員会**の会議はいつでも依頼できます。
- ▶ あなたは特別支援教育サービスへの同意を取り消すことができます。つまり、学校に対して、お子さんの特別支援教育サービスの提供を停止してほしいと書面で伝えることができます。
- ▶ 学校の規律には特別な規則があります。お子さんの不正行為が発生した理由が障害によるものであることが判明した場合、**ARD委員会**は、特定の状況において、懲戒の結果を変更することができます。



## 不都合が発生した場合：

各**ARD委員会**の会議では、あなたは積極的に参加し、お子さんの具体的なニーズについて学校のスタッフと話し合いながら、今後の最善の道について合意に達するよう努力することになります。しかし、時には学校の決定に同意できないこともあるかもしれません。連邦法**IDEA**の下で、あなたには**特別支援教育を開始する段階と、特別支援教育サービスを受けている間の両方**において、学校が行った特別支援教育の決定に同意しない、正式な権利があります。紛争解決の選択肢には、国の苦情の申し立て、調停の要請、適正手続の審理の要請などがあります。**ARD委員会**が**IEP**について合意に達するのを支援するために、州のファシリテーターも利用できます。

## IEPには何が含まれますか？

IEPは、次のようなお子さんのための特定の要素に対処する必要があります：

### PLAAFP

- » 「現在の学力水準と職務遂行能力（**PLAAFP**）：ARD委員会は、評価レポートやその他のデータに基づいて、お子さんのスキル、能力、課題を書き留めます。

### 目標

- » 測定可能な年間**目標**：目標は、お子さんの具体的なニーズに焦点を当て、お子さんが進歩することが期待されている時期を説明するために作成されます。
  - 例えば、お子さんに失読症がある場合、目標は、特定の分野の読解力の発達や流暢さを一定期間内に改善することに焦点を当てることができます。



### 指導とサービス

- » **特別に設計された指導、関連サービス、および**提供される補足的な補助およびサービスの説明。指導やサービスは、お子さんの具体的なニーズに応じて異なります。例えば、お子さんが失読症と診断された場合：
  - 特別に設計された指導では、多くの場合、高度に訓練された提供者が、失読症の学生に役立つことが示されているプログラムを使用し、[失読症ハンドブック](#)に従って指導するための時間が定期的に予定されます。
  - お子さんが字を書くことにも苦勞している場合には、関連するサービスに、作業療法士からお子さんの微細運動技能を向上させるための支援が含まれることがあります。
  - 補助的な支援やサービスには、課題を書くための文字起こしの選択肢に対するお子さんのニーズを記録することが含まれることがあります。

### 評価

- » お子さんが州や地区全体の**評価**にどのように参加するかについての情報。これには時間を延長するなどの配慮が必要かどうかなども含まれます。

### 移行

- » **移行**サービス：お子さんが**14歳**になったら、IEPは、高校卒業後のお子さんの計画と、その計画に沿ってお子さんの特別支援教育サービスがどのように調整されるかを文書化し始める必要があります。

### 配置

- » IEPには、お子さんの教育的**配置**が記載されています。配置の決定は、最も制限の少ない環境（LRE）で教育を提供するという要件に基づいて行われます。LREの目標は、お子さん固有のニーズに基づいて、障がいのない子どもたちがいる教室や環境に、必要なだけお子さんを参加させることです。

このフォームは権利の要約であり、紹介が行われた後に親に渡す必要があります。あなたの署名は、フォームを受信したことの確認としてのみ機能します。あなたの権利の詳細については、[「手続き上の保護措置の通知」](#) および [「親のためのARD手順ガイド」](#) を参照してください。

学生の名前 :

学生証番号:

親または保護者の名前

署名

日